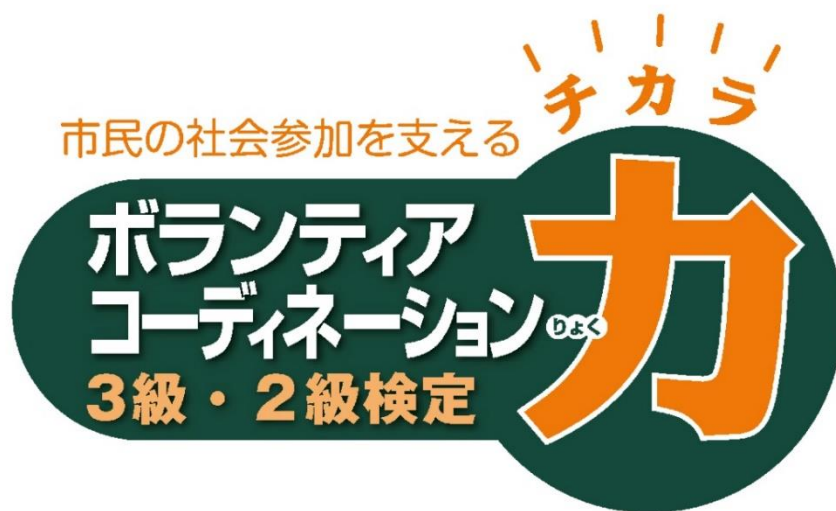




2022年版

実 施 要 項

申込開始 4月7日（木）10:00～

検定日	級	開催地	申込締切
6月25日（土）	3級 （第32回）	東京	5月30日（月）
		栃木	
7月9日（土）	3級 （第33回）	大阪	6月13日（月）
10月23日（日）	2級 （第24回）	大阪	9月26日（月）
11月20日（日）	2級 （第25回）	東京	10月24日（月）
12月4日（日）	3級 （第34回）	東京	11月7日（月）
		大阪	
		岐阜	



主催：認定特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門分化する現代。

私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。

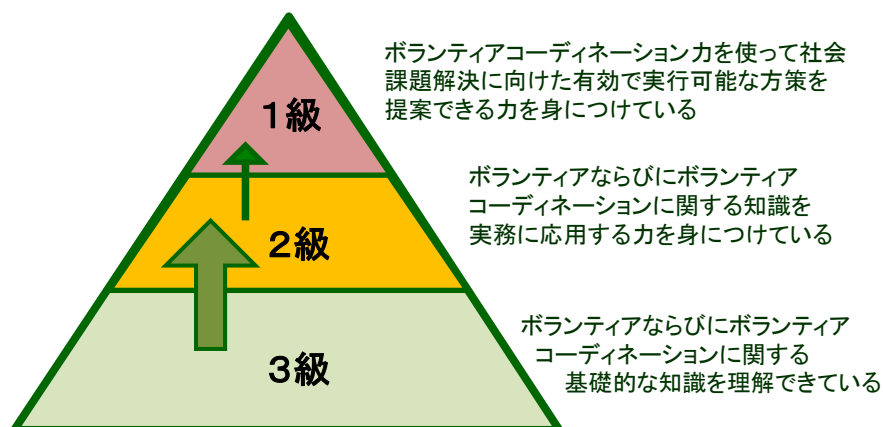
市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけでの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。

私たち日本ボランティアコーディネーター協会では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーション力（りょく）」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力

ボランティアコーディネーション力検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「3級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「2級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「1級」と、3つのレベルを設定しています。

日本ボランティアコーディネーター協会が実施する検定システムの全体像



認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2001年に設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している全国ボランティアコーディネーター研究集会や、基礎研修・ステップアップ研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。

<ボランティアコーディネーション力検定試験委員会>

委員長 妻鹿ふみ子（東海大学）
副委員長 栗木 梨衣
委員 青山 織衣（岸和田シティプロモーション推進協議会）
足立 陽子（東京都人権啓発センター）
岩井 俊宗（とちぎユースサポーターズネットワーク）

上田 英司（日本NPOセンター）
小原 宗一（北区社会福祉協議会）
鹿住 貴之（JUON（樹恩）NETWORK）
唐木理恵子（細ワークス）
公文真理亜（北九州市社会福祉協議会）

後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）
佐藤 匠（至学館大学）
新堀 春輔（京都市環境保全活動推進協会）
垂井加寿恵（神戸学院大学 ボランティア活動支援室）
土崎 雄祐（とちぎ市民協働研究会）
足田 恵子（杉並区社会福祉協議会）

3級

受験資格

①と②の両方に該当する方 ※年齢は問いません

①a) b) c) のいずれかに該当している

- a) これまでにボランティア活動の経験がある
- b) これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある
- c) ボランティアコーディネーションに関わる予定がある（具体的な内容を記載していただきます）

②3級検定直前研修を修了している

同日会場で実施する、もしくはオンデマンドで実施する直前研修を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。
※修了確認をおこなうため、受講日と開催地を申込書に記載してください。

日時・会場

第32回検定日 直前研修： 2022年6月25日（土） 10:00～16:30
検定試験： 2022年6月25日（土） 17:00～18:00
会場 東京：飯田橋セントラルプラザ（新宿区神楽河岸1-1）
※栃木：小山市市民活動センター「おやま〜る」（小山市城山町3-7-5）

第33回検定日 直前研修： 2022年7月9日（土） 10:00～16:30
検定試験： 2022年7月9日（土） 17:00～18:00
会場 大阪：大阪府社会福祉会館（大阪市中央区谷町7-4-15）

第34回検定日 直前研修： 2022年12月4日（日） 10:00～16:30
検定試験： 2022年12月4日（日） 17:00～18:00
会場 東京：飯田橋セントラルプラザ（新宿区神楽河岸1-1）
大阪：新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島1-18-22）
※岐阜：調整中（決まり次第、WEBサイトにてお知らせ）
※栃木・岐阜会場は会場での研修受講はありません。オンデマンド受講のみになります。
試験2週間前を目途に講義動画の視聴が可能になり、会場では試験のみ受けます。

直前研修・テキスト

①研修カリキュラム（5時間）

- 1) 今、なぜ、ボランティアコーディネーション力なのか？（公式テキスト序章）
- 2) ボランティアの理解（公式テキスト第1章）
- 3) ボランティアコーディネーションの理解（公式テキスト第2章）

②公式テキスト

「ボランティアコーディネーション力～市民の社会参加を支えるチカラ～」（第2版）
日本ボランティアコーディネーター協会編集 早瀬昇・筒井のり子著
中央法規出版発行 2,420円（税抜2,200円）

出題程度・合格基準

出題形式	問題数	検定時間	出題程度	合格基準
択一式筆記試験（4択）	50問	60分	・公式テキストから90%以上を出題 ・基本的な事項	70点以上（100点満点）

3級問題の例

問 「ボランティア活動」の説明として、適切な正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- A 自発的に行われるものは、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
B 自発的だけでなく、人の役に立つことをする場合は、「ボランティア活動」の範疇にはいる
C 自分の家族が抱える問題解決から始めた活動であっても、その活動を広く一般に開くことで「ボランティア活動」になる
D 無償で行われる活動は、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
① ○××× ② ××○× ③ ×○×○ ④ ××○○ 答え ②

問 ボランティアコーディネーションについての記述として、間違っているものを1つ選びなさい。

- A ボランティアコーディネーションとは、ニーズ（需要）にボランティア（供給）を適合させるテクニックのことである
B ボランティアコーディネーションは市民社会づくりを目的として行われる働きである
C ボランティアコーディネーションを行うには、ボランティアについての正しい理解や知識、情報が必要である
D ボランティアコーディネーションは市民社会づくりの様々なアプローチの中で、とくにボランティアに焦点をあてて取り組まれる
① A ② B ③ C ④ D 答え ①

※2009年に実施した第1回検定の試験問題を「ボランティアコーディネーション力検定」のWEBに公開しています。出題傾向の参考にしてください。

受験料

直前研修受講料 6,380円（税抜5,800円）
テキスト代 2,420円（税抜2,200円）
検定試験料 4,100円（税抜3,728円）

12,900円（税抜11,728円）
のところ

標準セット価格 12,000円

さらにJVC A正会員ならば 10,200円

※直前研修免除の場合の料金は、検定試験料のみになります。

※すでにテキストをお持ちの場合の料金は、直前研修受講料と検定試験料の合算になります。ただし、直前研修では第2版を使用するため初版とは調査結果の数値等多少の違いがあることはご承知おきください。

定員

第32回：東京 60人、栃木 40人 第33回：大阪 60人
第34回：東京・大阪 60人、岐阜 30人

2級

受験資格

下記の3つのすべてに該当する方 ※年齢は問いません

①3級検定に合格している

②これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある

③2級検定直前研修を修了している

検定日までに直前研修の講義動画を視聴し、検定同日に実施する直前研修の演習を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。

※修了確認をおこなうため、受講日と開催地を申込書に記載してください。

日時・会場

第24回検定日 直前研修：（講義）検定日までに動画を視聴
（演習）2022年10月23日（日） 9:15～15:05
検定試験： 2022年10月23日（日） 15:30～17:00
会場 大阪府社会福祉会館（大阪市中央区谷町7-4-15）

第25回検定日 直前研修：（講義）検定日までに動画を視聴
（演習）2022年11月20日（日） 9:15～15:05
検定試験： 2022年11月20日（日） 15:30～17:00
会場 大学生協杉並会館（杉並区和田3-30-22）
※講義動画は、試験2週間前を目途に視聴案内。直前研修（演習）と検定試験は同一会場で実施。

直前研修・テキスト

①研修カリキュラム（8.5時間）

- 1) ボランティアの捉え方
- 2) 社会の動きとボランティア
- 3) ボランティアコーディネーションの視点（グループ演習を含む）
- 4) ボランティアコーディネーションの実践（グループ演習を含む）

②サブテキストの内容は一部研修で取り扱わず自己学習のみとなる部分があります。

※「2級検定サブテキスト」を中心に研修します。

出題程度・合格基準

出題形式・問題数	検定時間	出題程度	合格基準
択一式筆記およびケーススタディ33問程度	90分	・2級検定サブテキストおよび公式テキストから90%以上を出題	70点以上（100点満点）

受験料

直前研修受講料 15,400円（税抜価格14,000円）
※サブテキスト代込 22,220円（税抜価格20,200円）
検定試験料 6,820円（税抜価格 6,200円）

標準セット価格 21,900円

さらにJVC A正会員ならば 18,600円

※直前研修免除の場合の料金は、検定試験料のみになります。

定員

第24回 大阪：24人 第25回 東京：24人

U30（アンダーサーティ）応援プログラムのご案内

個人の立場で「2級検定」を受験される30歳以下（1992年1月1日以降に生まれた方）の希望者には、直前研修の「受講料」に対して、最大15人まで1万円を補助いたします。

詳細は、別紙「募集要項」もしくは本検定のWEBサイトをご覧ください、WEBサイトから所定の申込みを行ってください。

【先着順】で定員に達し次第、締め切ります。

※共催（3級検定直前研修）：大阪ボランティア協会
後援（3級検定）：東京ボランティア・市民活動センター
協力（3級検定）：小山市市民活動センター

3級検定については、開催会場が増えることがあります。また、共催検定（他の団体と一緒に実施）も行っています。開催が決まり次第、順次ホームページにてご案内いたしますので、そちらもご確認ください。

https://jvca2001.org/vco_kentei/entry/

ボランティアコーディネーション力検定合格者数

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
1級				21	13	12	10	7	7	9	11	0	9	99
2級		88	55	78	57	48	57	64	56	61	75	36	33	708
3級	339	338	422	350	401	601	525	537	420	532	545	375	313	5698

単位: 人

2021年度の受験データ

3級

3級検定受験者数と合格率

	第30回		第31回			合計
開催地	東京	東京	大阪	岐阜	北九州	
受験者数	33人	74人	54人	14人	25人	200人
合格者数	31人	69人	53人	12人	21人	186人
合格率	93.9%	93.2%	98.1%	85.7%	84.0%	93.0%

※主催検定のみで数字であり、各地域で実施した共催検定結果は含まれておりません。

2級

2級検定受験者数と合格率

	第22回	第23回	合計
開催地	大阪	東京	
受験者数	19人	22人	41人
合格者数	16人	17人	33人
合格率	84.2%	77.3%	80.5%

合格者の声

NPO法人フードバンクうつのみやにおいて、活動に参加してくれる人がいないと運営が成り立たないほど、ボランティアの力は非常に大きなものです。

ボランティアコーディネーション力検定2級を受験した理由は、「ボランティアの方たちに楽しみながら活動に参加してほしいと思った」からで、ボランティアの特徴やモチベーションを維持することの難しさなど、ボランティアを多角的に捉え理解することを学びました。また、共に受験した異種のボランティアコーディネーターの話や事例を聴くことで、自らの知見を広めることにも繋がりました。

社会には様々なボランティア活動が存在し、ボランティアをしようとする人の想いもまた様々です。そんな多種多様なボランティア活動とボランティアをしたい人を上手にマッチングすることが、社会を良くすることに繋がると思っています。



写真中央Vサインをしているのが伊東さん。
ボランティアのみなさんと

特定非営利活動法人フードバンク
うつのみや 事務局長

伊東 由晃

2級

新型コロナウイルス感染症により、生協の中での組合員活動も大きく変わりました。

今までのような活動は継続できなくても、さまざまな工夫・アイデアを凝らした活動が続いています。

また、活動する単位が小さくなったり、地域の課題もさらに多様なものになってきていることから、そういった活動を支援するための「生協の役割は何か」ということを改めて考える必要があると感じました。

今回、ボランティアコーディネーション力検定で学んだことを活かして、何かをしたいと思った組合員が、より効果的に地域で活動しやすくするしくみをつくることができると考えています。

生協の枠を超えた地域ネットワークをつくり、一人ひとりが地域づくりへ参加するために、コーディネーションの役割と、コーディネートの視点を忘れず取り組んでいきたいと思っています。

3級



生活協同組合コープこうべ
地域活動推進部
藤原 智子

共催検定のご案内

あなたの街で「ボランティアコーディネーション力検定3級」を日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)と共催することができます。

直前研修がセットになったプログラムです。

ボランティアやボランティアコーディネーションの基礎研修として活用いただけます。

お問い合わせ

ボランティアコーディネーション力検定事務局

☎03-5225-1545

基本料金

1日の直前研修&試験というカリキュラムで実施し、30名(最少催行人数)の場合を想定しています。

- (1) 検定プログラムの使用料ならびに講師料 204,000円
- (2) 検定公式テキスト代 72,600円～
- (3) 検定料 123,000円～
- (1)(2)(3) 合計 399,600円～(消費税込み)
- (4) 講師にかかる経費(会場までの往復交通費、宿泊費等)の実費

その他、会場の確保、広報、申込受付、研修・試験に際しての係員の配置、直前研修レジュメの印刷などは開催地の負担となります。また、受験者が負担する費用(受講料)は開催団体に設定できます。

インターネットによる申込み

①日本ボランティアコーディネーター協会のWEBサイトからアクセス



https://jvca2001.org/vco_kentei/



②申込フォームに必要事項を入力し、送信する。

3級検定については、開催会場が増えることがあります。また、共催検定（他の団体と一緒に実施）も行っています。開催が決まり次第順次ホームページにてご案内しておりますので、そちらもご確認ください。https://jvca2001.org/vco_kentei/entry/

郵送による申込み

申込書に必要事項を記入し、検定事務局まで郵送する。

※FAXによる申込受付はいたしませんので、ご注意ください。

受験の流れ

申込み

〈申込書の提出締切日（必着）〉

3級

第32回： 5月30日（月）

第33回： 6月13日（月）

第34回： 11月 7日（月）

2級

第24回： 9月26日（月）

第25回： 10月24日（月）

※ただし、先着順で定員に達した場合は、その時点で締め切ります。

入金

申込書の受理後、1週間以内に入金手続きについてのご案内をEメールもしくはFAXでお送りしますので、指定の銀行口座に受験料をお振込みください。

3級

第32回： 6月 6日（月）

第33回： 6月20日（月）

第34回： 11月14日（月）

2級

第24回： 10月 3日（月）

第25回： 10月31日（月）

受験票
テキスト

入金確認ができた時点で正式な申込みとし、2週間以内に受験票とテキスト、当日のご案内を発送します。

※定休日（日、月、祝）は発送業務を停止いたしますのでご了承ください。

直前研修
受講

3級

第32回： 6月25日（土）

第33回： 7月 9日（土）

第34回： 12月 4日（日）

※オンデマンド受講は、試験2週間前を目途に視聴案内

2級

第24回： 10月23日（日）

第25回： 11月20日（日）

※講義動画は、試験2週間前を目途に視聴案内

直前研修受講免除

検定試験

3級

第32回： 6月25日（土）

第33回： 7月 9日（土）

第34回： 12月 4日（日）

2級

第24回： 10月23日（日）

第25回： 11月20日（日）

合否判定
結果通知

検定試験委員会において合否を判定し、1ヵ月以内に受験者に文書で通知します。合格者には各級の『ボランティアコーディネーション力検定合格証』を発行します。

申込み上の注意点

- ①お身体の不自由な方で、受験の際に教室や受験方法に配慮が必要な場合は検定事務局まで事前にご連絡ください（お早目をお願いします）。
- ②以下の場合には受験することができません。
 - ・申込期日を過ぎて申込書が検定事務局に到着した場合。
 - ・申込書が受付期間内に到着しても、書類または手続きに不備があった場合。
 - ・申込みに際し、所定の方法で申込みをされていない場合。

キャンセル

- ①受験料を期限内にお支払いいただけない場合（何らかの事情がある場合は、期限内に事務局までご連絡ください）。
- ②受験料振込後の申込みの取り消し、受験料・検定料の払い戻し、次回以降の検定試験への繰り越しは、主催者側に非がある場合を除いて、一切行いませんのでご了承ください。
- ③新型コロナウイルス感染症の陽性判定および濃厚接触者になったことによる取り消しについても②と同様の対応となります。
- ④荒天や自然災害、感染症の拡大等の事情により、やむなく検定及び直前研修を中止する場合には、テキスト代および事務手数料を差し引いた額を受験者が指定する口座に返金します。
- ⑤お申込み後にキャンセルされる場合は（入金前であっても）必ずご連絡ください。

受験票

入金後2週間以上経過しても受験票が届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は、必ず事務局へお問い合わせください。

持ち物

受験票、筆記用具、テキスト

受験上の注意

- ①次に該当する行為をした受験者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。

また、不正行為等が合格認定後に判明した場合は、その合格を取り消しとし、以後の受験をお断りする場合があります。

- ・本人以外が受験する。
 - ・他の受験者に迷惑をかける。
 - ・試験監督の指示に従わない。
 - ・携帯電話やスマホなどを使用する。（時計として使用することもできません）
 - ・録音機器、カメラ、辞書、テキストなどを使用する。
 - ・その他不正行為。
- ②問題用紙・答案用紙の持ち出し、途中退出後の再入場も不正行為とみなしますのでご注意ください。
 - ③受験者の答案は公表いたしません。また、問題に関する質問にはお答えできませんのでご承知おきください。

合否結果発表

試験後1ヵ月以内に受験者に文書で通知します。1ヵ月を経過しても検定結果が届かない場合は、検定事務局へお問い合わせください。

合否・採点・試験問題の内容に関するお問い合わせには一切お答えできません。

個人情報の取り扱いについて

検定事務局は、当該検定試験の申込みによって取得した個人情報（住所、氏名、生まれ年、性別等、個人を識別、特定できるもの）を以下の目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

- ・受験票や試験結果の発送、受講可能な検定試験や研修に関わる連絡
 - ・受験者の受験履歴の管理
 - ・合格者名簿の管理
- また、これ以外の目的に利用する場合は、ご本人（受験者）の同意を得た上で行います。

本検定試験をお申込みされた方は、この実施要項に記載されている全ての事項について、同意しているものとみなします。



2022年「ボランティアコーディネーション力3級検定」受験申込書

※必須項目

ふりがな※			性 別	男 ・ 女
申込者氏名※			生まれ年	(西暦) 年
所 属				
自宅住所※	〒		自宅電話	
送付先住所	〒			
	受験票や可否結果等の送付先をご自宅以外に希望される場合はご記入ください。(送付先・部署名もご記入ください)			
連絡先	当日連絡先※	()	電話番号	
	日中連絡先	連絡先名 ()		
	メールアドレス	PCからのPDF添付メールが受け取れ、かつ申込者のみ受信できるアドレスをお願いします。		
	FAX	メールアドレスのない方は必須でご記入ください。		
実施日・会場※ あてはまるところに○をしてください (開催会場が増えることがあります。HPをご確認の上、右にない会場を希望の場合は、お手数ですがWebフォームから申し込んでください)	実施日	会 場	研修形態の選択	受験
	第32回(2022年第1回) 6月25日(土)	東京(飯田橋セントラルプラザ)	オンデマンド・会場	
		栃木(小山市市民活動センターおやま〜)	※オンデマンドのみ	
	第33回(2022年第2回) 7月 9日(土)	大阪(大阪府社会福祉会館)	オンデマンド・会場	
	第34回(2022年第3回) 12月4日(日)	東京(飯田橋セントラルプラザ)	オンデマンド・会場	
		大阪(新大阪丸ビル別館)	オンデマンド・会場	
岐阜(岐阜市内で調整中)		※オンデマンドのみ		
直前研修・テキスト※	直前研修の有無		公式テキスト購入の有無	
	受講時期: 年 月 開催地(都道府県名): ※免除になる方は修了された際の時期と開催地をご記入ください。		購入する ・ 購入しない 2017年度より公式テキスト(第2版)を使用しています。旧版を使用される方は、改訂部分があることをご了承ください。	
JVCA会員の有無	正会員 ・ 準会員 ・ 賛助(個人) ・ 会員ではない ※会員割引は、正会員のみ対象となります。			
受験資格の確認 ※①～③いずれか1つは必ずご記入ください				
①ボランティア活動経験	経験年数	年 ヶ月		
	活動分野 ○をつけてください	社会福祉、保健・医療、社会教育、青少年育成、学校教育(小中高大)、環境保全、文化・芸術・スポーツ、国際交流・協力、男女共同参画、まちづくり、災害支援、中間支援(ボランティアセンターなど)、CSR、その他()		
	活動内容			
②ボランティアコーディネーションに関わった経験	経験年数	年 ヶ月		
	業務・活動分野 ○をつけてください	社会福祉、保健・医療、社会教育、青少年育成、学校教育(小中高大)、環境保全、文化・芸術・スポーツ、国際交流・協力、男女共同参画、まちづくり、災害支援、中間支援(ボランティアセンターなど)、CSR、その他()		
	業務・活動内容			
③今後関わる予定のボランティアコーディネーション分野・内容				

2022年「ボランティアコーディネーション力2級検定」受験申込書

※必須項目

ふりがな※			性 別	男 ・ 女	
申込者氏名※			生まれ年	(西暦)	年
所 属					
自宅住所※	〒		自宅電話		
送付先住所	〒				
	受験票や合否結果等の送付先をご自宅以外に希望される場合はご記入ください。(送付先・部署名もご記入ください)				
連絡先	当日連絡先※	()	電話番号		
	日中連絡先	連絡先名 ()			
	メールアドレス※	PCからのPDF添付メールが受け取れ、かつ申込者のみ受信できるアドレスをお願いします。			
	FAX	メールアドレスのない方は必須でご記入ください。			
受験希望日※ あてはまるものに ○をつけてください	実施日	会 場		研修	検定
	第24回(2022年第1回) 10月23日(日)	大阪(大阪府社会福祉会館)			
	第25回(2022年第2回) 11月20日(日)	東京(大学生協杉並会館)			
直前研修 3級ID	直前研修の有無		3級検定合格者ID※		
	受講時期: 年 月		(5桁)		
	開催地(都道府県名): ※免除になる方は修了された際の時期と開催地をご記入ください。		合格証に記載されている合格者IDを記入してください。		
JVCA会員	正会員 ・ 準会員 ・ 賛助(個人) ・ 会員ではない ※会員割引は、正会員のみ対象となります。				
受験資格の確認※ あなたのボランティアコーディネーションに関する経験について具体的にご記入ください。(複数の経験がある場合は、線で区切ってご記入ください。)					
ボランティア コーディネー ションに関わ った経験	いつ	どこで(組織・団体など)	どのような	雇用関係の有無	
	(西暦) 年～ 年			□ある・□なし	
	のべ経験年数	年 ヶ月			